

## 県内建設系職業訓練ガイドブック作成



ガイドブックを持つ  
青柳会長

群馬県内の建設業団体、教育・行政機関など35団体で構成する「建設産業人材確保・育成に関する協議会」（会長・青柳剛群馬県建設業協会会長）は、県内の建設系職業訓練校（10校）を紹介する「群馬県内建設系職業訓練ガイドブック」を作成した。普通科高校を含む県内の全高校などに約3500

## 全高校などに3500部配布 群馬県人材確保育成協議会

0部を配布する。

4日に前橋市の群馬建設会館で記者会見した青柳会長は「15年後には現在より技能労働者が3割減少すると見込まれ、人材育成が極めて重要な課題になっている。協議会が今年4月に行った新入社員合同研修会時のアンケートでも、学校の先生からの影響で入職したという回答が51・2%を占めた。教育機関への周知がかぎを握っている」とガイドブック作成の目的を説明。「県内の建設系職業訓練校を横断的に紹介する冊子は全国でも初ではないか」と述べた。

地域の職業訓練校の中には生徒確保に苦慮しているところもあるとして、「仕事をしながら技術・技能を学べる貴重な機関だ。地域のネットワーク強化にもつながる」と期待を示した。

紹介している訓練校は次の通り。

- ▽渋川地区高等職業訓練校（吉岡町）
- ▽太田地区高等職業訓練校（太田市）
- ▽前橋高等職業訓練校（前橋市）
- ▽西吾妻地区高等職業訓練校（長野原町）
- ▽利根沼田地区高等職業訓練校（沼田市）
- ▽高崎建設高等職業訓練校（高崎市）
- ▽館林地区高等職業訓練校（館林市）
- ▽桐生高等技能専門校（桐生市）
- ▽伊勢崎佐波高等職業訓練校（伊勢崎市）
- ▽利根沼田テクノアカデミー（沼田市）。

# 県内職業訓練校を横断的に紹介

## 群馬県人材確保・育成協議会

### 入職の動機付けに活用を

群馬県建設業協会らが組織する建設産業人材確保・育成に関する協議会（会長・青柳剛群馬県建設業協会会長）は、県内

建設系職業訓練校を紹介する「群馬県内建設系職業訓練ガイドブック」を作成した。喫緊の課題となっている人材確保・育成に向けた施策の一環として、技能労働者育成のスタートとなる職業訓練校の特色を一冊の冊子にまとめた。4日、前橋市の群馬建設会館内で会見した青柳会長は「写真Ⅱは職業訓練校の取組を横断的に伝える県内初の取

組。全国的にも他に例がないだろう。一人でも多くの人が業界に入ってくることを期待したい」と語った。

職業訓練校の入校生が減少する実態を踏まえ、建設業振興基金が事務局となる建設産業担い手確保・育成コンソーシアム



の支援を受け作成した。協議会の調査によると訓練校は入校生の減少、運営費の捻出、指導員の確保に課題を抱えており、「放っておくとかなり厳しい」（青柳会長）状況にあるという。

ガイドブックは、建設系コースがある県内の職業訓練校10校を紹介。訓練校の特色だけでなく、やりがいを感じた点など

訓練生の生の声を掲載する。青柳会長は「動機付けがきちんとしていないと（入職しても）中途退社してしまうことが多い。やりがいを感じた点

など動機付けのきっかけになるのではないかと指摘。新規入職を促すだけでなく入職者の定着にも繋がることを示す。冊子は3500部を作成。今月中にも普通科を含む県内高校や協議会構成機関などに配布する。国や県にも配布して水平展開を図る方針だ。

建設産業人材確保・育成に関する協議会は、建設業団体16団体や建設系高校8校、職業訓練校7校、群馬県などを構成機関として15年9月に設立。これまでに、富士教

育訓練センター施設見学会や新入社員合同研修会を展開している。掲載訓練校は次の通り。

- ▽渋川地区高等職業訓練校（吉岡町下野田1521・1）▽太田地区高等職業訓練校（太田市西新町22・1）▽前橋高等職業訓練校（前橋市石関町122・7）▽西吾妻地区高等職業訓練校（長野原町長野原42・2）▽利根沼田地区高等職業訓練校（沼田市栄町123・1）▽高崎建設高等職業訓練校（高崎市山名町918・9）▽館林地区高等職業訓練校（館林市当郷町218）▽桐生高等技能専門学校（桐生市相生町5・51・10）▽伊勢崎波高等職業訓練校（伊勢崎市宮子町121・1）▽利根沼田テクノアカデミー（沼田市利根町日影南郷335・1）